

STAGE+を楽しむ(209)(HP 収載)

—チェコ・フィルハーモニー—

1. 始めに

前報(208)に引き続き、STAGE+のチェコ・フィルハーモニーの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は STAGE+のチェコ・フィルハーモニーの演奏を選びました。

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

収録日: 2024年9月29日

本映像は、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の新シーズン幕開けです。「音の魔術師」の異名をとる名匠シャルル・デュトワが指揮台に立ちました。注目はダニール・トリフォノフとの共演によるドヴォルザークのピアノ協奏曲。演奏機会の少ない楽曲ですが、リヒテルも得意としていた作品で、旋律と和声の美しさと技巧が見事に調和しています。ベルリオーズの《幻想交響曲》もオーケストラの魅力を存分に味わえる作品しょう。狂気の世界が圧倒的なスケールで描き出されていきます。

ソリスト:

ダニール・トリフォノフ (ピアノ)

演奏:

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

指揮:

シャルル・デュトワ

曲目:

アントニン・ドヴォルザーク ピアノ協奏曲ト短調 op. 33

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

《眠れる森の美女》op. 66 よりヴァリアシオン II 〈銀の精〉

(ミハイル・プレトニョフによる編曲版)

エクトル・ベルリオーズ 幻想交響曲 op. 14



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続しています。

ドヴォルザークのピアノ協奏曲は、初めて聴くもので、トリフォノフの華麗なテクニックが冴えており、緻密なチェコフィルのオーケストレーションをバックにトリフォノフの煌びやかなピアノが踊ります。

チャイコフスキーの《眠れる森の美女》op. 66 よりヴァリアシオンII〈銀の精〉は、アンコール曲のようで、軽快なバレエ音楽です。

ベルリオーズの幻想交響曲は、色彩感溢れる曲ですが、豪華な内装のホールで華麗な演奏が展開されます。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用した結果に Crystal EpY-G の効果も加わって、トリフォノフの煌びやかなピアノと色彩感溢れるチェコフィルの演奏が聴けました。

以上